

平成 26 年 12 月 19 日

「データサイエンス・オンライン講座」の開設 －「社会人のためのデータサイエンス入門」の受講者募集開始－

総務省は、将来の経済成長を担う“データサイエンス”力の高い人材育成のための取組として、自らの学びをサポートするウェブ上で誰でも参加可能なオープンな講義「データサイエンス・オンライン講座」を開設します。

この講座の第1弾として、本日、「社会人のためのデータサイエンス入門」の受講者の募集を開始します。

- 我が国の国際競争力を維持し、経済成長を加速化させるためには、ビジネスの現場においても、データに基づいて課題を解決する能力の高い人材、いわゆるデータサイエンスを身に着けた人材が不可欠となっています。
このような状況を踏まえ、総務省統計局及び統計研修所では、統計力向上サイト「データサイエンス・スクール」の開設等、“データサイエンス”力の高い人材育成のための取組を進めてきました。
- これを更に推進するため、自らの学びをサポートするウェブ上で誰でも参加可能なオープンな講義「データサイエンス・オンライン講座」を開設します。
この講座の第1弾として、「社会人のためのデータサイエンス入門」の受講者の募集を本日から開始します。
講座の開講は、平成27年3月17日（火）の予定です。
- 今回募集を開始する「社会人のためのデータサイエンス入門」は、統計学の基礎やデータの見方等、データ分析の基本的な知識を学ぶことができる内容となっています。
この講座は、日本政府が初めて提供する「MOOC（ムーク）講座」です。
受講の方法は、本講座紹介用ウェブサイト（<http://gacco.org/stat-japan>）を御覧ください。
- こうした取組を通じて、日本の企業活動の活性化及びオープンデータの利活用の促進につながることを期待しています。

（別添資料）

- 参考1 「社会人のためのデータサイエンス入門」の概要
- 参考2 経済成長を担う“データサイエンス”力の高い人材育成について
- 参考3 MOOCとは

（連絡先）
統計局統計情報システム課統計情報企画室
担当：永井補佐 高橋係長
直通 03-5273-1023
FAX 03-3204-9361

【参考1】

「社会人のためのデータサイエンス入門」の概要

- 講座はMOOCプラットフォーム「gacco」を通じて提供
- 平成27年3月17日開講
- 1回10分程度×4～7回程度(1週間)×4週間のビデオ講義
- 各週の確認テストと最終テストの実施



週	各週のテーマ	内 容
1	統計データの活用	コースへの導入、分析事例から分析に用いる統計的な考え方、データの見方への導入を図る
2	統計学の基礎	データ分析に必要な統計学の理論的な基礎を学ぶ
3	データの見方	データの見方について基本的な方法を学ぶ
4	公的データの入手とコースのまとめ	誰もが入手可能なデータである公的統計データの入手方法を学び、コースのまとめを行う

【参考2】 経済成長を担う“データサイエンス”力の高い人材育成について

ICTの急速な発展のもと、データに基づく数量的な思考により、課題を解決する能力、いわゆる、“データサイエンス”を身に着けた人材が不可欠。

これにより、我が国の国際競争力を維持し、経済成長を加速。

※ いわゆるデータサイエンスとは、データに基づく数量的な思考により、課題を解決に導く科学のこと

【課題】 我が国でデータサイエンスに関する人材が不足。

このため、“データサイエンス”力の高い人材育成とその学習基盤整備が急務。



【当面の政策】

統計(データ)リテラシーの普及・啓発を先導してきた総務省が、ICTを活用し喫緊の本課題へ対応。ビジネスマンなどの社会人に対するデータサイエンス普及のための以下の取組を統計学会等と協力し、推進。

① 統計力向上サイト「データサイエンス・スクール」の開設(平成26年6月1日)

パソコンやスマートフォンなどでデータの活用方法や統計に関する知識を、いつでも誰でも気軽に学べる学習サイト

② 「データサイエンス・オンライン講座」の立上げ(平成26年度内)

自らの学びをサポートするウェブ上で誰でも参加可能なオープンな講義
⇒「MOOC」を活用



➡ 「世界最先端IT国家創造宣言(平成25年6月14日閣議決定)」に基づき推進

【参考3】 MOOCとは

【MOOCとは】(Massive Open Online Courses の略)

- インターネット上で誰でも無料で参加可能な、大規模でオープンな講義のこと。ビデオ講義と試験やレポート、ディスカッション可能な掲示板を提供し、修了書を発行。

講座選び



受講登録



受講



修了証発行

- ・KHAN ACADEMY: 非営利の教育サイト、初等教育から大学レベルの講義まで。
- ・UDACITY: スタンフォード大学の教員が設立した企業によるサービス、コンピュータサイエンス中心。
- ・coursera: スタンフォード大学の教員が設立した企業によるサービス、世界の約100大学・機関が講座を開設。東京大学が参加。
- ・edX: MITとハーバードが共同設立した非営利組織、世界の約40大学・機関が講座を開設。京都大学が参加。

【地域MOOC】

- 自国の大学が提供する母国語でのサービスの必要性が高まり、各国で開設。
 - ・FutureLearn(英国)、France Université Numérique(フランス)、XuetangX(中国)、miriada X(スペイン)、EDRAAK(ヨルダン)、The Open University of Israel(イスラエル)。



【日本の状況】

- 日本版MOOCの普及・拡大を目指し、「JMOOC」(日本オープンオンライン教育推進協議会)が平成25年10月に発足。26年4月から「gacco」等のサイトで講座を開設。